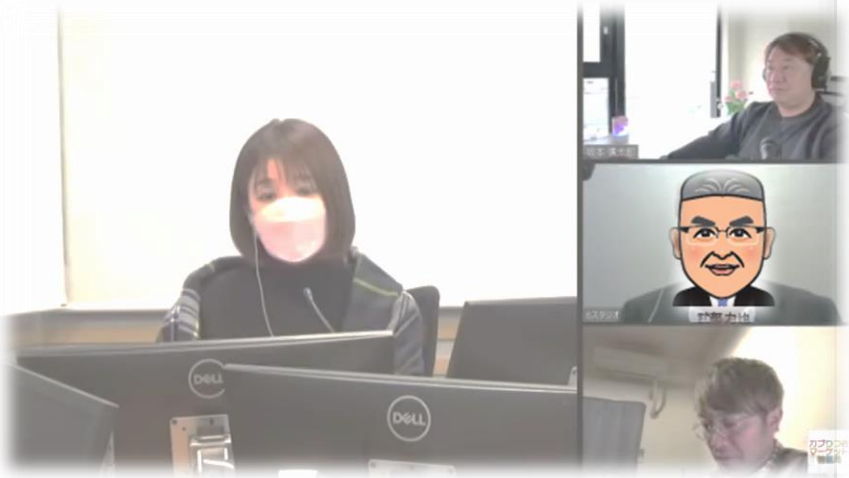
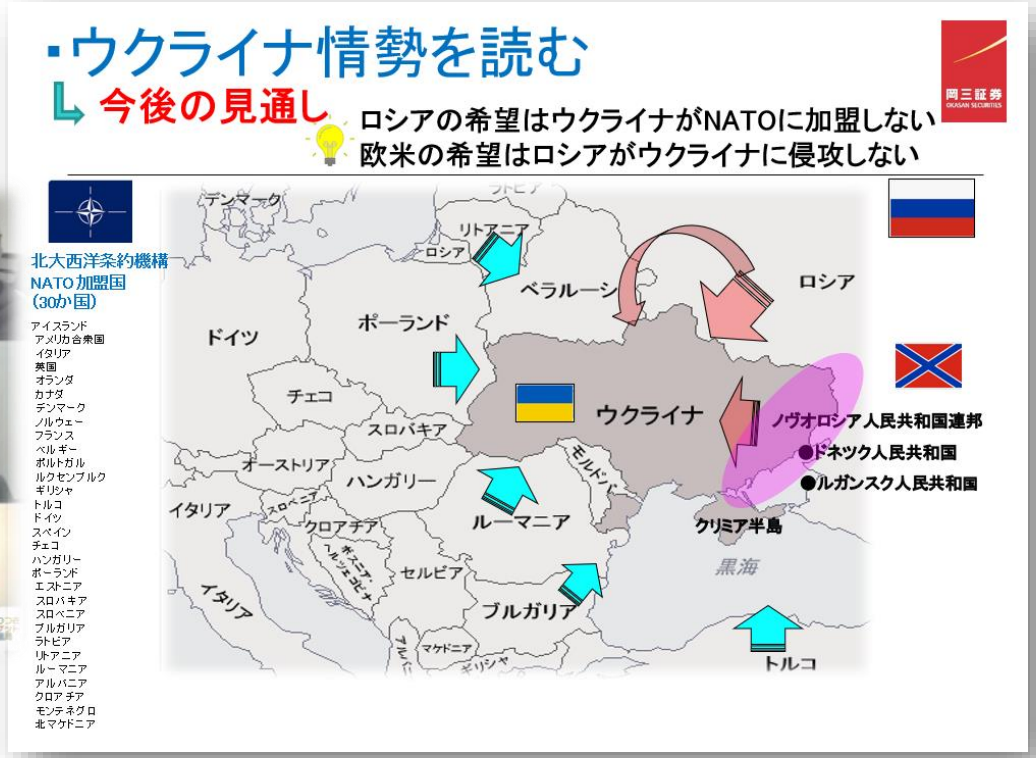
・ロシアのウクライナ侵攻

↳ 今後の行方は？

◇前回のおさらい（2月4日のカブりつき出演において）





武部が「テストに出るよ♪」と、指摘したポイント

○「12月の国連総会で北京五輪開催中は武力紛争停戦決議⇒ロシアは不動の説」
○「2月23日・ロシア祖国防衛の日がポイント説」
○ウクライナ東部の親ロシア派実効支配地域をロシアが独立承認（ミンスク合意破棄）説
○ウクライナ通貨「フリヴェニャ」、スイス通貨「フラン」注視⇒ユーロ安スイスフラン高進行

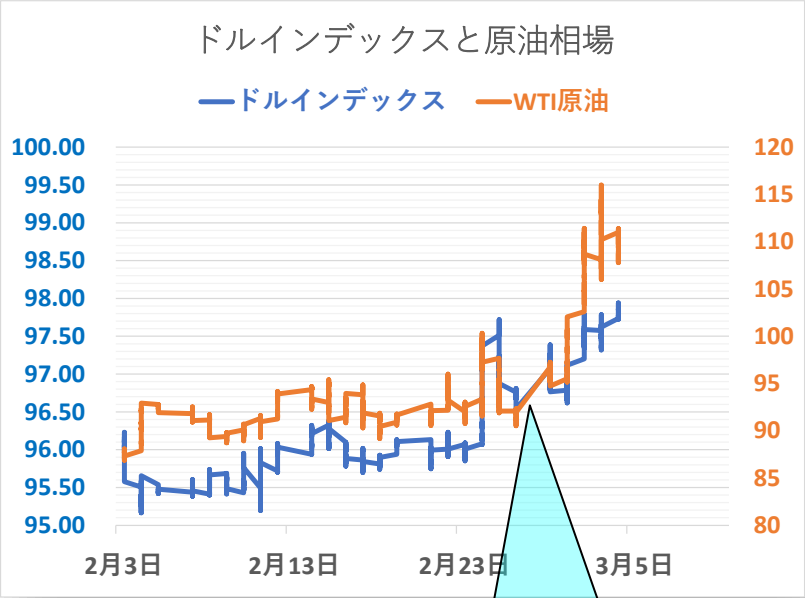
・ロシアのウクライナ侵攻

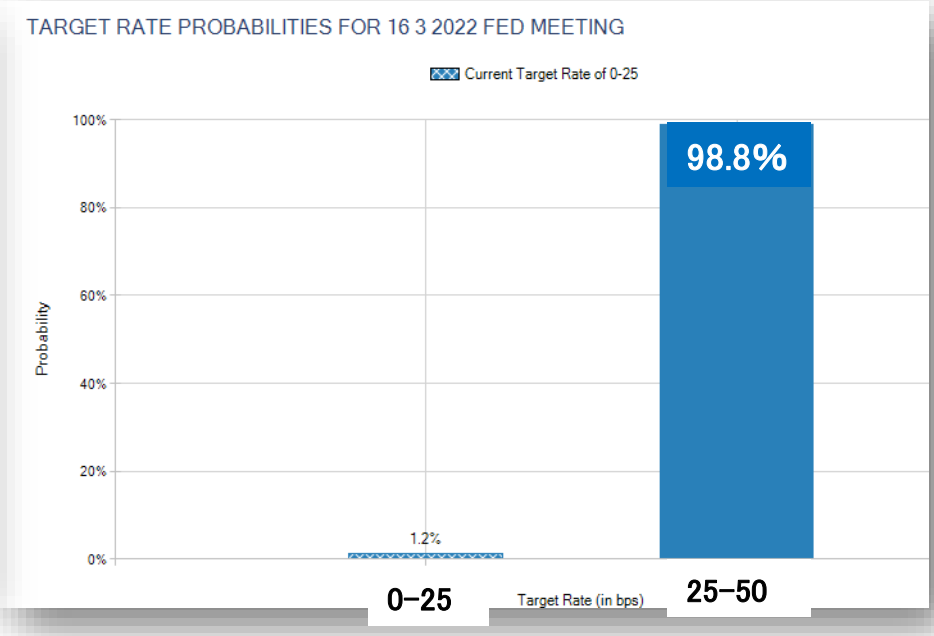
↳ 今後の行方は？

原油高・FOMC利上げ確率

岡三証券 OKASAN SECURITIES

ウクライナ情勢が米国に及ぼす影響の確認





有事のドル買いと原油上昇に伴い、ドルの調達コストも上昇

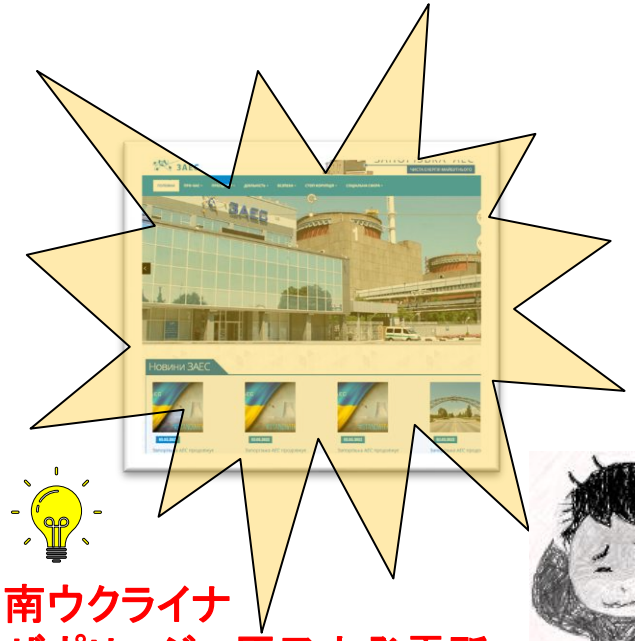
CME FEDWATCHでは3/16のFOMCでは0.25%利上げ確率98.8%へ

・3月の外為市場テーマ

↳ FRBの利上げを補強する米国雇用統計

3月4日金曜日22:30発表

2月失業率予想:3.9%（前回4.0%）
2月非農業部門雇用者数予想:+40.0万人（前回46.7万人）



南ウクライナ
ザポリージャ原子力発電所
（欧州最大規模）

	11月	12月	1月
非農業部門雇用者数	+21.0万人	＋19.9万人	+46.7万人
失業率	4.2%	3.9%	4.0%
労働参加率	61.8%	61.9%	62.2%
平均時給（前月比）	+0.3%	+0.6%	+0.7%

・ロシアのウクライナ侵攻

今後の行方は？

ウクライナ情勢が日本に及ぼす影響の確認

◇理想的な対話外交と現実的な軍事外交への対応議論⇒非核三原則など

◇脱炭素と再生・原発などのエネルギー戦略見直し議論

◇周辺国との領土問題⇒北方領土（対露）、竹島（対韓）、尖閣諸島（対中）

◇日本の安全安心な社会づくりの議論（資源・食料・医療・防衛）

◇景気対策・財政・金融政策の拡大議論⇒増税や金融正常化の難度

◇高インフレ対応が迫られる日銀ほか主要中銀

夏の参院選焦点になるのか

いのち・財産　＞≒＜　自由・誇り

・ロシアのウクライナ侵攻

今後の行方は？

岡三証券 OKASAN SECURITIES

ウクライナ情勢が米国に及ぼす影響の確認

CME FEDWATCHでは
3/16の0.25%利上げ確率
98.8%へ

◇高インフレ対策優先の米金融政策に影響を及ぼすのか

【慎重】高インフレ対策を優先するもウクライナの影響注視。利上げ幅は0.25%（パウエルFRB議長）
【慎重】ウクライナ考慮すべきも利上げ着手は必要（FOMCメンバー：クリーブランド連銀メスター総裁）
【強気】ウクライナ情勢米利上げに影響せず（FOMC非メンバー：リッチモンド連銀バーキン総裁）
【強気】物価高持続なら米利上げは年内4回超（FOMC非メンバー：アトランタ連銀ボステック総裁）
【強気】バランスシートを迅速に縮小すべき（FOMC非メンバー：サンフランシスコ連銀デイリー総裁）

◇ウクライナへの関与に関する複数米世論調査

ウクライナへの米軍派兵を支持せず、**が約50%強の半数超え（過去の泥沼化戦突入への反省）**

米国の経済と平和を優先する国内世論

『（ロシアに対して）ドル、ユーロ、ポンド、円でビジネスする能力を制限する』

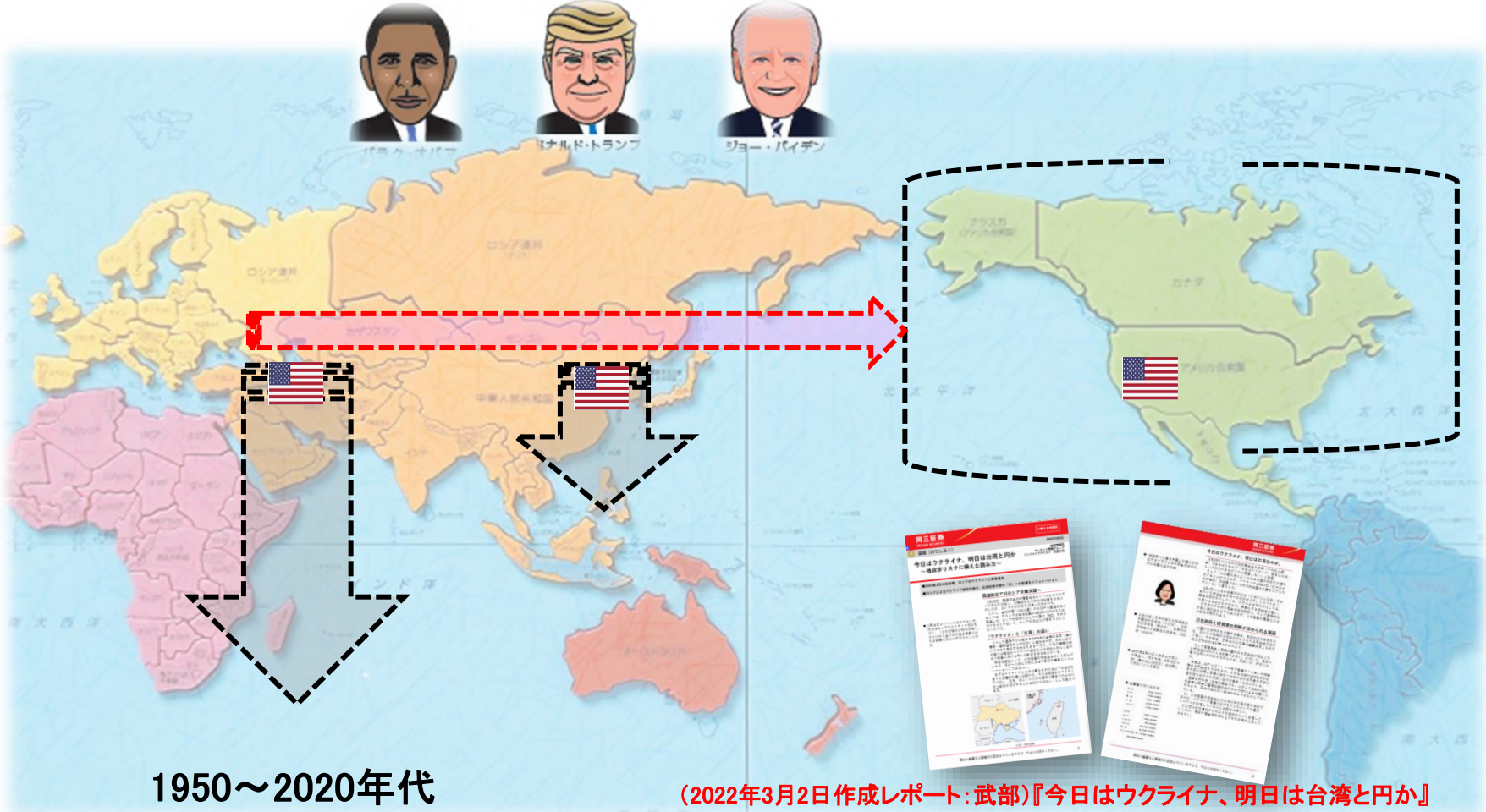
（2/25土曜日午前3時半頃）

秋の米中間選挙の焦点になるのか

・ロシアのウクライナ侵攻

↳ 今後の行方は？

米国が関与する軍事ラインの縮小・後退が顕著⇒円の地政学リスク増幅？



1950～2020年代

（2022年3月2日作成レポート：武部）『今日はウクライナ、明日は台湾と円か』

中東・東アフリカ・西アジアから撤退・関与縮小・見直しの対象国

（レバノン・イラン・イラク・ソマリア・リビア・シリア・アフガニスタン・ベトナム・フィリピン・韓国）

・ロシアのウクライナ侵攻

↳ 今後の行方は？

90年前の日本の歴史からロシアの今後を探る

1932年　日本陸軍（関東軍）　柳条湖事件
1932年　満州国の建国宣言

1933年　2月、満州事変の事実関係を国際連盟が調査
（リットン調査団を派遣）
⇩
満州国は日本の傀儡国家と認定

1934年　3月、認定を不服として日本は国連から脱退
1938年　9月、国連加盟国による対日経済制裁
1941年　ABCD（America、Britan、China、Dutch）包囲網

「満州国建国後の日本」
国・地域の経済ブロック圏形成
（大東亜共栄圏）

⇩

世界経済の分断・　デカップリング？

90年後

ウラジーミル・プーチン

「ウクライナ侵攻後のロシア」
欧米自由主義陣営　VS　ロシアなどの反米陣営
⇩
世界経済の分断　デカップリング？

・短期ドル円材料

↳ 米国雇用統計での売買焦点

出所：Refinitiv　作成：岡三証券　3月4日午前6時時点（日本時間）